

UNIX基礎

UNIXを使う理由

- UNIXでしか使えないアプリケーション
 - 最新の研究用ソフト
 - 並列化・大容量メモリ対応ソフト
- たくさんの処理を一度に行う
 - スクリプトを用いたコマンドの連続実行
- 自作プログラム
 - シェルスクリプト, Perl, Ruby, バイオ系ライブラリ
- Webサーバ、データベースサーバ
 - 高い安定性
 - apacheやmySQL, Postgresなどのフリーウェア

PCでUNIXを使うには

Mac	OSX自体がUNIX (#1)	アプリケーション→ターミナルを起動 UNIX端末として使用できる
	リモートログイン	UNIXサーバへリモートログイン ターミナルからsshを使用する
Windows	Cygwin	Windows上で動作するUNIXライクな環境
	VMware + Linux	仮想マシンを構築してLinuxそのものをインストールする
	リモートログイン	UNIXサーバへリモートログイン TeraTermからsshを使用する

#1) フリーウェアなどのインストールが必要な場合は
「OSXでのUNIX環境構築方法」を参照

実習 1

- OSXのUNIX環境を確認する

1. 画面最下部にあるDockメニューを確認
2. 「ターミナル」を起動する



(ターミナルの在処は、アプリケーション/ユーティリティ)

講習を始める前に

- コマンドプロンプト

- 画面に表示されている "\$" や "%" などの記号

今回の環境は `dh00-216:~ nibb$`

- コマンド入力待ちの状態を表す

続けてコマンドを入力し、改行キーで実行する

- 半角英数字および記号のみ

- コマンドの入力は全て半角文字を使用
- 入力文字が全角になる日本語入力はOFFにする

キーボード配置の確認

- 普段使用しない記号を多用します

➤ キーの位置を確認しましょう

"¥" バックスラッシュ (\)
"|" 縦棒、バーティカルバー

"~" チルダ
"^" ハット

"'" 引用符

コントロールキー

"*" アスタリスク

">" 大なり記号
"<" 小なり記号

"_" アンダースコア



ファイルシステム

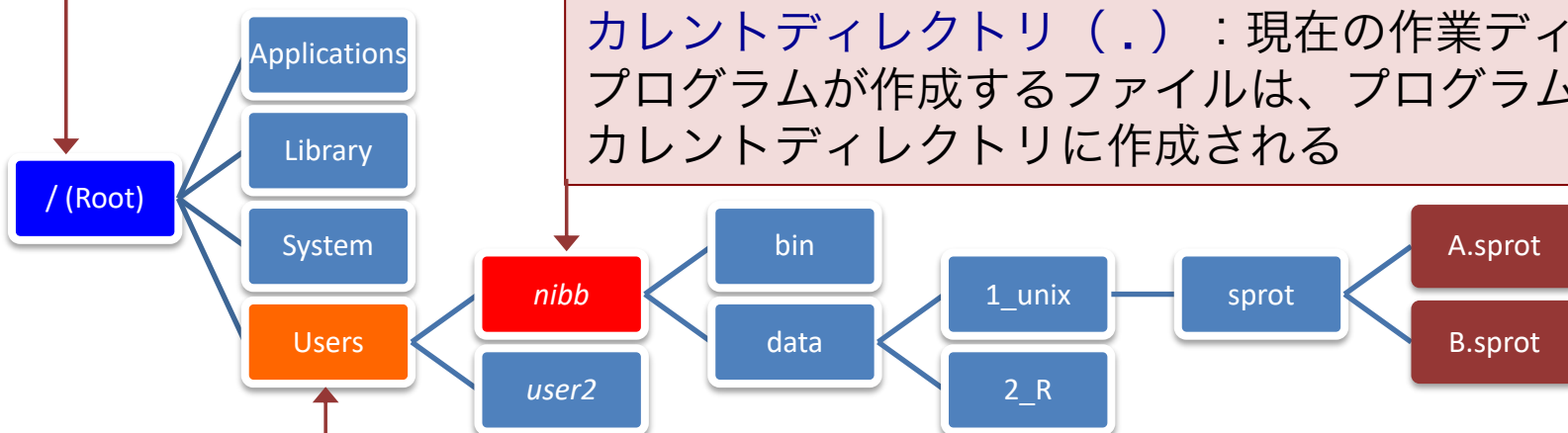
階層型ディレクトリ

- UNIXにおけるディレクトリ = PCでのフォルダ
- トップのルートディレクトリ下に、子ディレクトリ、孫ディレクトリがあり、ファイルを配置する

ルートディレクトリ (/) : ファイルシステムの頂点

ホームディレクトリ (~) : 個々のユーザ専用ディレクトリ、ログイン直後最初に位置するディレクトリ

カレントディレクトリ (.) : 現在の作業ディレクトリ、プログラムが作成するファイルは、プログラム起動時のカレントディレクトリに作成される



親ディレクトリ (..) : カレントディレクトリのひとつ上のディレクトリ ドット2つで表記する

階層型ディレクトリ

